



エコパートナーシップうじたわら

うじたわらの木くん

～茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまら～

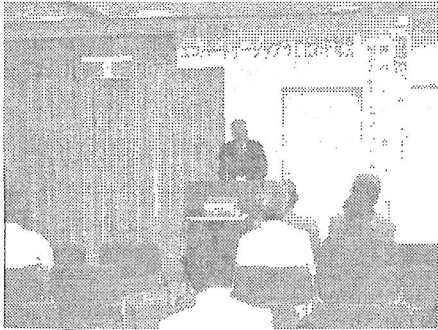
発行日：平成20年7月

日（第25号）

編集・発行：エコパートナーシップうじたわら広報部会

事務局 TEL (88) 6635 FAX (88) 3231

【平成20年度総会を開催しました】



【阪本会長挨拶】

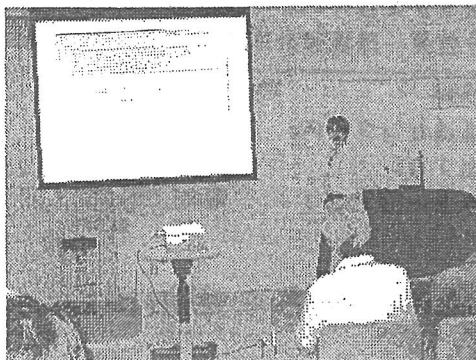
エコパートナーシップうじたわらでは、「平成20年度総会」を6月21日（土）午後2時から、宇治田原町総合文化センター研修室1で開催しました。

来賓として坊副町長、弦川議長ら5人をお招きし、祝辞を頂戴しました。

総会では、平成19年度事業報告・収支決算、平成20年度事業計画・収支予算案を阪本議長進行のもと審議し、すべて承認されました。

各部会の子な活動計画は次のとおりです。

活 動 内 容	
自然・生活環境部会	<ul style="list-style-type: none"> ○見る・観る・視る・診る・うじたわら ・町内の自然景観優良箇所の選出と保全活動 ・自然環境や歴史風土を体験できるハイキング等の開催（住民全般対象） ・町内の休耕田活用ビオトープ保全と観察会（住民全般対象） ・町内外の環境施設の研修見学会（住民全般対象） ・ニーズに即した講演研修会（住民全般対象）
循環型社会・地球温暖化防止部会	<ul style="list-style-type: none"> ○生活スタイルを見直そう。 ・マイバック運動 ・生ごみ減らし隊（ゴミの減量） ・廃食油の回収啓発運動 ・エコクッキング（年1～2回） ・ワイワイエコ井戸端会議（2月 or 3月） ・視察研修（一日エコツアー） ・緑のカーテン推進事業（自然クーラー）
広報部会	<ul style="list-style-type: none"> ○エコパートナーを広げよう！！ ・会報誌の発行（総会・観察会・温暖化情報・環境保全計画進捗状況等） ・ミニフォーラムの開催（省エネ・生ゴミ・廃食油に関すること等） ・運営委員会での学習会（毎回テーマを決め、30分程度の学習会開催） （環境保全計画・パートナーシップの意義・環境マネジメントシステム・温暖化の現状等）



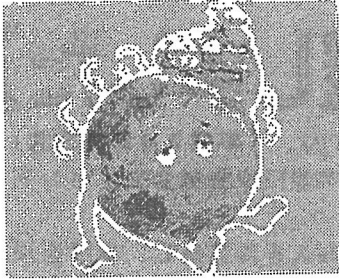
また、総会終了後に京都府地球温暖化防止活動推進センター、木原浩貴氏による基調講演を開催しました。

『地球温暖化防止の家庭省エネのネタ！』と題し、進む地球温暖化の京都への影響、家庭の省エネではクイズ形式で楽しく非常に分かりやすく講演していただきました。

さらに、「おもわず、おっと声が出る温暖化防止のネタブック」を提供いただき、参加者の皆さま全員に配布いたしました。（家庭でもすぐ取り組める内容が満載です。）

第34回主要国首脳会議（北海道洞爺湖サミット）が9日に終わりました。

議長総括は、2050年まで世界全体で温室効果ガスを少なくとも半減させる地球温暖化対策の長期目標に関し、先進国の責任は途上国を異なるとした上で、主要8カ国は「指導的役割を認識し、野心的な中期の国別総量目標を実施する」と率先して削減に努める決意を表明されました。



地球温暖化問題は、その予想される影響の大きさや深刻さから見て、人類の生存基盤に関わる最も重要な環境問題です。

その原因は、人為起源の温室効果ガス濃度の増加だとほぼ断定されています。現在の世界の排出量は自然界の吸収量の2倍を超えており、このまま行くと、1980～1999年と比較した今世紀末の地球全体の平均気温の上昇は、環境の保全と経済の発展が地球規模で両立する社会では、約1.8℃（1.1～2.9℃）である一方で、化石エネルギーを重視する社会では、約4.0℃（2.4～6.4℃）に達すると予測されています。今後の気温上昇に従って、より深刻な影響が様々な

分野で地域で生じることが予測されています。

小さなことでもいいです、ご家庭で実践できる温暖化防止（省エネ）に取り組んでみてください。子供たちが安心して住める地球環境を残そうではありませんか。

次の方・団体から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました

宇治田原町、株式会社宇治田原製茶場、宇治田原工業団地管理組合、宇治田原町商工会、宇治田原町森林組合、協栄開発株式会社、区長会、JA京都やましろ宇治田原支店・田原支店、株式会社馬場義電気、株式会社播磨園製茶、米田造園土木株式会社、須河車体株式会社、堀口新聞販売所、株式会社山岡製作所
※平成20年6月末現在（敬称略）

☆エコパートナーシップうじたわら入会のご案内☆

- ◆会員の区分
 - ・個人会員＝町民、町内への通勤・通学者、環境に関心のある人
 - ・団体会員＝町内で活動する団体及び法人
 - ・賛助会員＝本会の趣旨に賛同し、活動を支援する個人・団体及び法人
- ◆会費
 - ・個人会員・団体会員については、無料です。
 - ・賛助会員については、活動支援金として年額1口5,000円の会費を募ります。
- ◆入会の方法
 - ・入会申込書に必要事項を記入し、事務局に申し込んでください。
- ◆部会
 - ・広報部会・・・会報誌の発行、活動報告書の作成、イベント等の啓発
 - ・自然・生活環境部会・・・河川や動植物の学習会、自然観察ファミリーハイキング開催
 - ・循環型社会・地球温暖化防止部会・・・生ごみ処理機の普及啓発、環境家計簿の普及等

応募先・お問い合わせ先：エコパートナーシップうじたわら事務局
（宇治田原町保健医療課循環型社会推進センター内）
〒610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出10
TEL 0774-88-6635 FAX 0774-88-3231
Eメール：junkan@town.ujitawara.kyoto.jp



茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原